

アンケート結果報告

令和3年2月16日発行
大阪府立東淀川支援学校
PTA 進路指導委員会

先日は進路情報&アンケートのプリントに目を通していただき、ありがとうございました。
今回は、提出されたアンケートの質問に答えていきます。

進路に関する事で、聞きたいこと知りたいこと疑問に思うこと

卒業後、進路にどれだけの選択があるのか知りたい



先日配布した進路情報プリントや、ここ3年間の進路状況を参考にさせていただければと思います。

卒業 年度	在 籍 数	進 学				就 労				職業能力開発校	福 祉							
		大学・短大	専攻科等	専修学校	各種学校	学校・職安紹介	縁故・家業	その他	就労継続支援A型		就労移行支援	就労継続支援B型	自立訓練	生活介護	地域活動支援センター	施設入所支援等	児童施設延長	その他
H29	34	0	0	0	0	4	0	0	1	0	3	15	2	8	1	0	0	0
H30	28	0	0	0	0	4	0	0	0	2	3	10	1	8	0	0	0	0
R元年	41	0	0	0	0	6	0	1	1	1	3	14	5	8	0	0	0	2



学校からの紹介で事業所に入れるのでしょうか？



お子さんに適している事業所について、相談することや紹介してもらうことはできます。ですが、事業所の利用は個人との契約になるので、学校からの紹介で優先的に入れてもらうことなどはできません。
事業所側が、学校を通じた実習や、ご家庭からの体験実習などから、利用できるかできないかではなく、合うか合わないかという視点で判断されるからです。
高等部で卒業生が利用した事業所などを掲載した「事業所活動紹介」の冊子が配布されるので、お子さんに合った事業所を探すときの参考にしてください。

就労 A の勤務時間は今後も時間短縮なのでしょうか？
平常時の 1 日の勤務時間は何時間ですか？



就労 A 事業所の平常時の勤務時間は 4 時間（10 時～15 時・昼休憩 1 時間）のところが多いです。
希望しても延ばしてもらえない事業所が多いです。



子どもと雇用先の間に入ってサポートしてくれる人や、
そのようなサービスはありますか？



子どもと雇用先の間での相談は、淀川地域障がい者就業・生活支援センター（通称：淀川しゅうぼつ）
という機関があり、無料で利用できます。

就業を希望、またはすでに就業している方に対し、就業及び日常生活に関する相談から職業定着ま
での支援を行い、就業の安定と職業的自立の促進を図る機関です。

学校では、就職が決まった生徒を対象に、卒業前に淀川地域障がい者就業・生活支援センターの職
員による個別説明会を実施しています。

本校通学区域の
障がい者就業・生活支援センター



淀川地域障がい者就業・生活支援センター
淀川区木川東 3-10-11
（電話 06-6885-7911）

先輩保護者に聞いてみたいこと

先輩保護者のご協力により、たくさんのお話を聞くことができました。
貴重なお話ばかりです。ぜひ一読ください。

どのように事業所を決めましたか？決め手は？



ズバリ

情報収集

見学

体験



P T Aの施設見学会や個人で見学に行き、時には本人も連れて行って気持ちを聞きました。早く帰りがったところはナシかな。親としては過ごしている様子をイメージできるかどうかポイントでした。先生から勧めていただいた実習先に行きながら、就労か就労移行に絞りました。働いて稼いだお金で服を買ったり、カラオケに行ったり、旅行も行きたいと本人が言っていたので、あとは本人の気持ちに任せました。働いてみてアカンかったらやり直したらいいかなと思います。甘いかな。



仲良しの友達と一緒にいきたいと言っていましたが、1人で通えるところを条件に選んだので、結果、家から近いところになりました。

子どもの能力、学校やアセスメントで通った就労移行の方に就労Bが適していると聞いて選びました。「家から近いところ、交通機関は乗り換えなし、交通費もなるべく抑えたい」「スタッフの人、利用者がいい感じでトラブルがなさそう」「作業場所が清潔で密でない」などが親の希望でした。でも「本人が機嫌よく通えそうか」が1番大事です。



いくつか体験、実習に行きました。本人が嫌がらず楽しく通えていたか。楽しく作業できる環境か。指導員さんや利用者さんたちの関わりはよいか。施設内はきれいに使用されているか。将来自力通所を目指すため、近場もしくは通える範囲内であるか。昼食は持参やお弁当でなく、施設内で調理されているか。

希望している事業所が他と何が違うのか、メリットデメリットなどを客観視するために、希望しないということを知っている事業所にも見学へ行きました。就労Bといっても、本当に様々でした。いずれ普通の就職を目標にするところ（就職を決め、辞めていく子が多いので若い子が多い）。自由時間や自分で考えることを重視するところ。生活介護と両方やっていて、全員でのレクリエーションが多いところ。クラブ活動などもあり、利用者同士のコミュニケーションが活発なところなどなど。親が7か所見学し、3つに絞って子どもと見学しました。学校からの実習以外にも体験させてもらい、本人に決めさせました。子ども本人の決め手は、土日休みが多い、落ち着いている利用者さんが多く、静かで温かな雰囲気、仕事内容。親の決め手は、歩いて通える、スタッフさんたちの雰囲気です。

見学と実習（学校と個人）で、大阪市職業指導センター、就労A、B、就労移行に行きました。
本人が行きたいと言ったのが決め手です。
実習で事業所のスタッフさんが本人の理解や気持ちを受け止めて、個人的にスケジュールを作ってくださいました。
親もこの事業所に通所させたいと思いました。



いかに穏やかに過ごしていけるか。
本人から希望を聞くのは難しいので、実習や見学に行き、本人の様子で決めました。
1番目は送迎があるところ。
2番目はゆったりと自由な感じより、お仕事などリズムのあるスケジュールで過ごせるところ。
3番目は見学に行った時の雰囲気。

子どもに向いているところ

利用していた放課後デイサービスと同系列の事業所に決めました。
本人が選択できないので、親が決め、生活介護と就労Bと2か所通っています。
生活介護は「緊張せずに伸び伸びできて楽しめる・送迎があるところ・作業をしたら工賃をいただける・余暇が充実」など。
就労Bは「仕事の意識を高めてくれる・できる仕事をさせてくれる・余暇（イベントや旅行など）が充実・送迎がある」などで選びました。

親の都合も含めて（送迎があるところ、近いところとか）優先順位を決める。
全部叶うところはほぼないので、何をあきらめるかってのも大切。
お昼ご飯に、お弁当を頼むのがいまいちとか。



事業所や
スタッフの
雰囲気



事業所やお仕事が本人に合っているかはやってみないとわからない。
個人でも申し込めるので、いろいろ体験してみるといいのでは。
学校形式の事業所の中には高3夏休みには決めないといけないところも。
いずれの事業所も定員があるので、できるだけ早めに入所希望の意思を伝える。
本当に受け入れ可能か確認が必要。
入所後、どうしても合わなければ無理せず、計画相談支援事業所などに相談するなどして、新しい環境でやり直してもいい。
過敏で人との関わりが難しい方には、パーティションなど利用して作業できる事業所もあるのでいろいろ探してみましょう。

説明会や資料、事業所パンフレットを参考に就労Bが適していると思い、希望しました。
自宅から安全に通える、運動を兼ねて歩いて行ける、少しでもストレスが少なく安心して通える、に重点をおき、事業所を探しました。
通えそうな事業所には子どもを連れて行き、作業を体験させてもらいました。
その様子を見て2か所に絞り、高3の前期・後期現場実習で行き、どちらがよいか本人に決めてもらいました。

本人が好きかが1番優先。
体験、実習で現実通うことを考えて。
電車好きなので駅近。
土や葉っぱが好きなので畑のあるところ。



同年代が多いところか
幅広い年齢層のところか



余暇やクラブ活動が
充実しているところ



自宅から近いところ。
学校やデイサービスの延長のようなところが向いていると思う。
本人の特性を考え、過ごす部屋の広さや人数などの環境が合っているところ。
今後も安心して、人と関わりながら日中を過ごし、趣味や集中できることを増やし、少しでも社会貢献して、いろいろな体験をさせてほしいと願っている。

A班でした。進路を考え始めた頃から、送迎サービスのある生活介護の事業所が適していると思っていました。
自宅付近まで送迎があるところで探しました。
事業所と同じ系列の放課後等デイサービスにも通っていました。
通いやすさ、安心感、信頼感などが決め手です。



昼食も
いろいろ

決め手は安心感です。
実習前の面接、実習中に私が見学に行ったときに会社の方々と話した感じなど、全体的に安心感がありました。
上司の方が「うちの会社では障がいのある社員を我が子のように思って接しています」とおっしゃってくださり、とても安心しました。
職場には、東淀川支援学校卒の先輩もいて、勤務中の真面目にきりっとした表情や様子も要因の1つです。
ちなみに就労移行を探すときは、「私が無理をせずに通わせることができるか」「支援の方向性（パソコン、IT関係に熱心とか）」「過去の就業実績」「施設利用者の表情」「スタッフとの話しやすさ」「施設の清潔さ」などを考えました。

C 班。知的障害をとまなう自閉症。聴覚過敏。食物アレルギーがある。
興味の範囲がせまく、こだわりが強く、会話によるコミュニケーションも苦手で、初めての行事では不安が大きくなる。電車や車が好きで毎日でも見に行きたい。
意欲はあるが、受け入れてもらえるのか。
PTA 施設見学会、進路勉強会に参加。
淀川区、東淀川区の障がい者のための就労フェアで企業がどんな人材を求めているのか情報を得る。
事業所のパンフレット、大阪市 HP「障がい者・障がい児事業所、施設などの情報」を閲覧。
「大阪府工賃（賃金）実績の公表」で工賃を確認。
就職は無理なので、生きがいのある生活を送れるようにするために就労 B を探すことに。
高2の夏休みに、先輩保護者から聞いた事業所で2日間実習。
どんなところが適しているのか。どんなところを伸ばしたいか。おいしい給食があり、アレルギー対応をしてもらえる。作業の種類が多く暇な時間がない。就労移行もある多機能型。電車で1時間以内。
長時間働ける体力をつける。コミュニケーション能力の向上。
高3前期実習で第1希望の事業所に実習へ。夏休み中、第2希望の事業所でB型アセスメント実習。
後期実習で第3希望の事業所へ。
本人の意思を確認し、第1希望の事業所に決定。



その後はどう過ごしているのか聞いてみたいです。

平日はほぼ休まず通所。
事業所は終わるのが早いので、移動支援
を利用している方が多いです（お迎え・
買い物・運動・散歩・帰宅など）。
土日は家でゆっくりと過ごす。

2つの事業所を曜日で分けて利用し
ています。1つのところはもっと条
件がいい事業所に行けるようにとマ
ナーを教えてくれています。



初期は作業ミスもあり、注意されパニック
になったことも。しばらく遅刻をして通
所。遅刻連絡はメモを見ながら本人で。そ
のうち職場や作業に慣れ、仕事にやりがい
をもっているようだ。
毎日電車に乗るので、勝手に見に行くこと
がなくなり、聴覚過敏がやわらぎ、休憩時
間にテレビを見られるようになった。時
にはトラブルもあるが、理解していく力が身
についた。

卒業後しばらくしてグループホーム
に入所されたり、ショートステイを
利用されている方もいます。

毎日会社に行って、夕方早くに帰宅し
ています。就業時間が6時間ほどなの
で、生活のリズムは学校に行っていた
ときと似ています。





子どもへの説明はどうしましたか？希望を引き出すには？

卒業後、新しいところに行くよとしか伝えていませんが、毎日通ううちに学校の代わりの場として理解している様子です。

本人が選べない、意思表示が苦手でも、見学や実習に行った事業所のパンフレットなどを並べてみて「どこが良かった？」と選べそうな聞き方をしてみるといいかも。聞いてあげるアクションは大切。

本人から希望を聞くのは難しいので、親が向いているところを探した。

少額でもいいので自分のお金で選んで決めて買う経験をしていき、希望を引き出していく。

いろいろなところに見学に行き、1日だけでも体験や実習をさせてもらい、様子を見る。合っていそうなところは長期休みを利用して再度体験させてもらいました。

卒業後、学校みたいに仕事を教えてくれる場所があるから見学に行こうと誘いました。本人から希望を聞き出すのが難しいので、様子を見て判断しました。

言葉が少なく、聞いてもわからなかったなので、見学や体験に連れて行きました。全体の雰囲気合う、好きそうなところだと親が判断しました。学校から実習で行ったところ、放デイで通っているところ、と説明しました。

絵カードを使って、卒業したあとは事業所に行くよと伝えました。

3月で学校を卒業する、4月からはお仕事をすると、本人に合わせて説明しました。

卒業後、仕事・生活など、わからないことや悩みをどこに相談していますか？



ママ友、地域の親の会
つばめの会（東淀川支援学校卒の保護者の会）



事業所のスタッフ、移動支援員、ヘルパー
生活相談支援事業所の支援員
障がい児のネイチャースクールの支援員



しゅうぼつ
(大阪市障がい者就業・生活支援センター)

友だちのお子さんは、「仕事をやめる」と言い出したそうですが、しゅうぼつに相談して、とても助かったと言っていました。人間関係が問題だったらしく、しゅうぼつが会社とその子どもの間で話し合ってくれたそうです。

その子は今も同じ職場で働いています。



今現在、言葉はたくさん覚えています、字が書けない、行動がなかなか出来ていないです。進路に悩んでいます。同じような子どもがいれば、いいアイデアください。

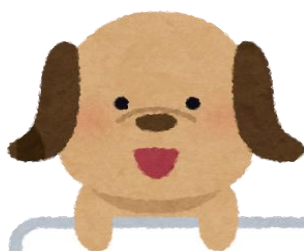


字はなぞり書き、発語はほぼなし。毎日規則正しい生活が送れるように気をつけています。

放デイには、学習や体験のプログラムを組んで、好きなものに参加して楽しめるような仕組みのところがありません。そんなところに通うと、楽しいうえに成長します。

発語があるなら、コミュニケーションの可能性は高いと思います。学校生活では先生方と目標を共有しながら、家庭では様々な経験の機会を作り、力を高めていかれたらと思います。事業所によっては、ずっと立ち作業だったり、細かい作業、同じことの繰り返しなど、特徴があるので、得意不得意を見つけておかれるといいと思います。

お子さんに合う環境を見つけるためにも、進路の情報、選択肢を知っておくことが大事です。
わからないことや心配なことも、1つずつ解決していけば大丈夫。
「わからなさすぎて何を聞いたらいいかわからない、でも聞きたい」
そんな状態でも、先生方は相談にのってくださいます。
いろいろな話を聞いて、情報を得て、お子さんの進路決定にお役立てください。



お知らせ

進路指導委員会からのお知らせです。

2月18日(木)、19日(金)の作品展のPTAコーナーに、福祉サービス事業所のパンフレットを置かせていただくことになりました。興味があるところ、気になったところ、ぜひ手に取ってお持ち帰りください。

